



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第24号
R8. 9. 8
文責：校長

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く子どもの育成」

修学旅行（9/3～4）～6年生

6年生が「歴史の足あとをたどる旅 ～笑顔とマナーでつくる最高の思い出～」というテーマを掲げ、1泊2日の日程で修学旅行に行ってきました。

1日目はあいにくの雨模様となってしまいましたが、豪雨や強風は無く、傘や合羽などの準備がしっかりとされていたので、雨はさほど気にはなりません。中尊寺、五大堂、東北歴史博物館では、ガイドさんの説明に真剣に耳を傾けたり、学習シートを使って仲間と協力しながら調べたりするなど、“学ぶ姿”が見られました。うみの杜水族館では、たくさんの珍しい魚たちはもちろん、イルカのショーや買い物を存分に楽しんでいました。ホテルでは、豪勢な夕食や、消灯時間までの仲間との交流を存分に満喫していたようです。消灯時間以降の各部屋は、騒がしいなどということは無かったですが、実際の部屋の中が何時頃までどうだったのかは分かりません…。

2日目は雨も上がり、暑すぎることも無かったため、快適に過ごせました。仙台市科学館では、普段味わうことができない様々なことを体験できましたし、青葉城址では伊達政宗の功績などを学びました。そして最後はほとんどの子どもたちが今回のメインに据えていたベニーランドです。乗り物好きな人や苦手な人がグループを組んでいましたが、お互いを気遣ったり挑戦したりしながらまわっていました。園内のどこで出会っても、子どもたちには笑顔があふれていました。集合したときには、みんなが「楽しかった！」とコメントしていました。

自分たちの思いや目標、家族や先生方の願いが、すべて達成できた2日間になったのではないかと感じました。保護者、ご家族の皆様におかれましては、準備へのご協力、早朝の見送りや夕方遅くの出迎えなど、本当にありがとうございました。子どもたちの“おみやげ”と“おみやげ話”を通して、子どもたちが思い切り楽しんだ修学旅行の空気感を少しでも味わっていただければと思います。



【あたたかい見送り】



【昼食は牛タン】



【“学び” もしっかりと】



【イルカショー】



【大広間で豪勢な夕食】



【発電に挑戦！】

いのちをまもる われをみがく きついうごく